

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公表番号】特表2017-516652(P2017-516652A)

【公表日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-575618(P2016-575618)

【国際特許分類】

B 0 1 D	71/26	(2006.01)
B 3 2 B	5/22	(2006.01)
B 3 2 B	27/32	(2006.01)
B 0 1 D	69/10	(2006.01)
B 0 1 D	69/12	(2006.01)
B 0 1 D	69/08	(2006.01)
C 0 8 J	9/00	(2006.01)
B 2 9 C	47/06	(2006.01)
B 2 9 K	23/00	(2006.01)
B 2 9 K	105/04	(2006.01)
B 2 9 L	7/00	(2006.01)
B 2 9 L	9/00	(2006.01)

【F I】

B 0 1 D	71/26	
B 3 2 B	5/22	
B 3 2 B	27/32	E
B 0 1 D	69/10	
B 0 1 D	69/12	
B 0 1 D	69/08	
C 0 8 J	9/00	C E S A
B 2 9 C	47/06	
B 2 9 K	23:00	
B 2 9 K	105:04	
B 2 9 L	7:00	
B 2 9 L	9:00	

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月7日(2018.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非対称微多孔膜であって、

複数の孔を画定する熱可塑性ポリマー基体であって、ポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)、ポリメチルペンテン(PMP)、及びそれらの組合せのうちの1つ又は複数を含む、熱可塑性ポリマー基体と、

前記熱可塑性ポリマー基体上に配置されたポリメチルペンテン(PMP)ポリマースキンと、を含み、

前記熱可塑性ポリマー基体がPMPを含む場合、前記PMPポリマースキンは、前記熱可塑性ポリマー基体のPMPの結晶化度とは異なる結晶化度を有する、非対称微多孔膜。

【請求項2】

前記PMPポリマースキンの前記結晶化度は、約40%、又は約40%未満である、請求項1に記載の非対称微多孔膜。

【請求項3】

前記熱可塑性ポリマー基体は、ポリメチルペンテン(PMP)を含む、請求項1に記載の非対称微多孔膜。

【請求項4】

前記PMPポリマースキンの前記結晶化度は、約40%未満であり、前記熱可塑性ポリマー基体のPMPの前記結晶化度は、約40%超である、請求項3に記載の非対称微多孔膜。